

精神疾患における診断・治療効果に関わるバイオマーカーの探索



いのうえ かず ゆき

薬学科(臨床薬効解析学分野) **井上 和幸**

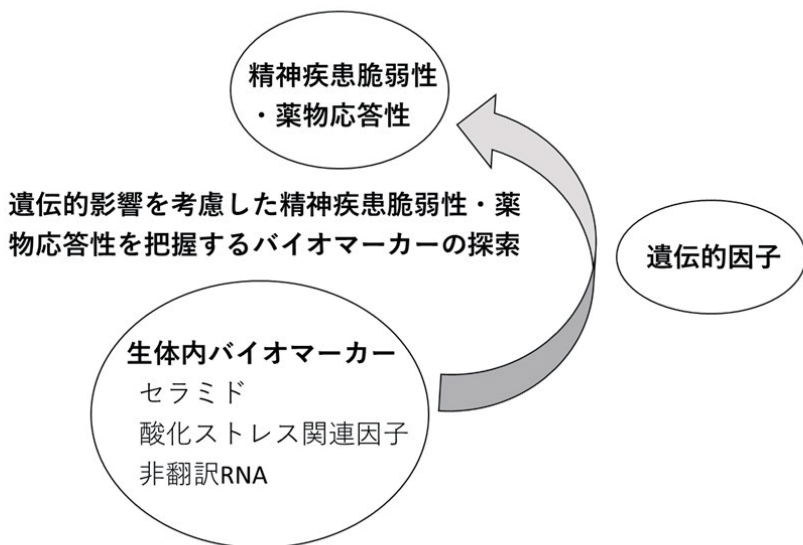
- 連絡先 TEL: 054-264-5675
E-Mail: k-inoue@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/clinphar>

キーワード

セラミド、スフィンゴ脂質、酸化ストレス、ミトコンドリア DNA コピー数、非翻訳 RNA、遺伝子多型



うつ病や統合失調症など多くの精神疾患の診断や治療効果判定は、患者への問診が基となっていて行われている。そのため、患者の主観によらない客観的に評価可能な生体内バイオマーカーの発見が望まれている。また、生体内バイオマーカーは、個々の遺伝的背景によりその発現量に影響が見られることも示唆されている。我々は、うつ病や統合失調症患者を対象として、疾患脆弱性や治療効果判定に有用なバイオマーカーの検索とその臨床応用を目指している。セラミド (C16:0, C18:0, C20:0, C22:0, C24:0) やスフィンゴシン-1-リン酸、酸化ストレス関連因子 (ミトコンドリア DNA コピー数、8-hydroxy-2'-deoxyguanosine (8-OH-dG) など)、非翻訳 RNA (microRNA や long non-coding RNA) を対象として、その発現に影響する遺伝子多型などの遺伝子背景を含めて、精神疾患脆弱性、薬物応答性との関連について研究を行っている。



アピールポイント

セラミド、酸化ストレス関連因子、非翻訳 RNA の発現量測定、遺伝子多型解析が可能です。精神疾患以外の疾患にも対応します。